

港区企業・地域連携防災セミナーを開催しました

平成 30 年 3 月 8 日（木曜日）、港区民センター ホールで港区防災サポーター登録企業と地域 自主防災組織を対象にした「港区企業・地域連携防災セミナー」を開催しました。企業 14 社と港区全 11 地域 合計 36 名が参加し、筋原港区長による「港区の防災の取り組み」の説明後、講師の都市防災研究所 土肥 英生氏が講演、ワークショップを行いました。

ワークショップでは活発な意見が出され、企業と地域が災害時に助け合うため、普段の活動に防災の要素を取り入れ、お互いに繋がる、お互いの情報を共有する、お祭り等を通じて楽しく交流するといったことが大切ということを講師が総括され、盛況のうちに終了しました。



「津波防災の日」に大阪湾岸5区で一斉に津波対応訓練を実施しました

「津波防災の日」である平成29年11月5日（日曜日）、大阪湾岸5区（此花区、港区、大正区、西淀川区、住之江区）では、南海トラフ巨大地震発生を想定した「大阪湾岸5区津波対応訓練」を一斉に実施しました。

港区では弁天地域で、地域住民の方が安否確認し、津波避難施設への避難や災害時避難所となる弁天小学校の3階へ避難訓練を行った後、防災教育と防災実技学習（煙中体験、消火器使用訓練、飲料水の応急給水）を行いました。

また、災害時の地域災害対策本部設置運営訓練、避難所開設訓練や福祉施設と連携した要支援者搬送受入訓練を行いました。

その後、港区の地域防災リーダーによる可搬式ポンプによる放水訓練、倒壊模擬家屋からの救出救護訓練を行い、途中、消防ヘリコプターが上空を旋回しました。

また、海遊館や港区各地域、区役所が災害対策本部を設置し、その間で一斉に無線機による情報伝達訓練を行い、情報伝達状況や無線の運用方法について検証を行いました。

今回の訓練は、大阪湾岸5区で構成する「湾岸部津波対策の推進にかかるワーキンググループ」での議論により実施した訓練で、今後も同ワーキングにおいて市民の津波災害に対する危機意識の高揚や津波に対する防災意識を高めるため、様々な取り組みを行ってまいります。

弁天地域災害対策本部設置運営訓練



可搬式ポンプによる放水訓練



倒壊模擬家屋からの救出救護訓練（倒壊家屋）



倒壊模擬家屋からの救出救護訓練（ガレキ）



平成 29 年 11 月 6 日(月) 読売新聞 朝刊



津波防災の日「6」の5日、大阪市の湾岸にある此花と舞、大正、西堀川、住之江の5区で南海トラフ巨大地震の発生を想定した津波対応訓練が行われた。市内でも特に津波の海水被害

大阪湾岸5区 津波対応訓練

「津波防災の日」の5日、大阪市の湾岸にある此花と舞、大正、西堀川、住之江の5区で南海トラフ巨大地震の発生を想定した津波対応訓練が行われた。市内でも特に津波の海水被害

が懸念されており、各区が一斉に訓練を行うことで、避難を促すよう企画された。

訓練は、マンシチエード

0・1の地盤で、大阪市内で最大震度6の揺れを想定、発生から1時間50分後に津波が到達するとの想定で実施された。津波では、住民約500人が舟大小で避難訓練を行ったほか、区内の自主防災組織に配備されている無線機が西風なく使えるかどうかを確認した。

津区の節取草津区長は「1つ1つの機会に住民の防災意識を高め、今後は隣の区の施設と連携する訓練も行いながら万全の態勢を整えたい」と語った。

平成 29 年 11 月 6 日(月) 朝日新聞 朝刊



「津波防災の日」の6日、西日本の各地で南海トラフ地震による津波を想定した避難訓練があった。

人工衛星 安否送信

和歌山・高知 津波訓練で初実験

和歌山県と高知県では、内閣府が人工衛星を使った安否確認の実験を全国で初めて実施。村人を高音に導き大津波から救った「箱ひらの火」の逸話で知られる和歌山県広川町では、JRきのくに線を電車が走行中、地震が発生した想定で訓練をした。緊急停車した電車から小中学生ら約400人がはしごを使って降り、約400メートル離れた集合まで避難した。

神社ではスマートフォンなどで名前やけがの有無などを入力。副位置「をちびきり」を介して、内閣府のシステムを使い、安否確認を入力する参加者。中央の通信機を通じて衛星に情報を送る。5月、和歌山県広川町

府のサーバーにデータを送信した。このシステムは災害時にインターネット回線が不通になっても利用でき、自治体の災害対策本部や家族の安否を知りたい人も情報を見られるという。

一方、大阪市では大阪湾に面した5つの区が合同で津波対応訓練を初めて行い、住民ら約8400人が参加。災害時に避難所となる各区の弁天小学校には住民ら約600人が集まり、校舎3階に避難した。

また、津区はこの日、水族館「海遊館」や全11地区の避難所に配備しているデジタル無線機を二斉に使用して訓練。各避難所の自主防災組織の担当者や、区職員が無線で被災状況などを確認し合った。

海遊館は周囲を海と川に囲まれているため、同館の担当者は津波時の避難路となる橋の被災状況を無線で確認した。

(和歌山県、広川町提供)

平成29年(1~12月末) 大阪市区別大阪重点犯罪(抜粋)等発生件数【暫定値】

区名	ひったくり		路上強盗		自動車盗		車上ねらい		部品ねらい		オートバイ盗		自転車盗		7手口合計			全刑法犯		
	29年	前年比	29年	前年比	29年	前年比	29年	前年比	29年	前年比	29年	前年比	29年	前年比	増減率	29年	前年比	増減率		
大阪市計	347	-141	56	-33	403	+5	4,645	-1,049	1,763	-420	851	-240	13,571	-1,980	21,636	-3,858	-15.1	48,982	-6,313	-11.4%
港区	3	-1	0	±0	14	+7	84	+6	49	+10	41	+17	393	-5	584	+34	+6.2	1,110	+40	+3.7%

※ 平成28年の統計数値は確定値、平成29年の統計数値は平成30年1月5日付暫定値である。

※ 件数は、発生地で計上、よって市内警察署の認知件数と異なる場合がある。